

研究課題番号	S-15-3
研究課題名	海域における自然資本・生態系サービスがもたらす自然的価値の予測評価
研究実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研)海洋研究開発機構
研究代表者名	白山 義久

## 1. 委員の指摘及び提言概要

様々な時点、地点での様々な生態系サービスの質を同じ尺度で可視化する意味は大きい。海域の環境変化のドライバーを、気候変動（直接は高水温化）に加えて、陸域と沿岸域における人間活動に求めたシステムの論考として、期待された成果をあげている。陸域との関連においては窒素流入といった限定的な要素以外の要素の今後の検討を期待したい。海洋健全度指数を導入して、海洋生態系サービスを統合的に評価したことを高く評価するが、長期的視点から、砂防ダムや「森林飽和」に伴う流砂系の劣化に伴う海岸浸食や、予想される洋上風力の影響なども踏まえたブラッシュアップが望まれる。

## 2. 採点結果

評価ランク：A